

令和 6 年度（2024年度）学校評価報告書

1 本年度の重点目標						学校関係者評価の結果		
「生徒の一人ひとりの特性に応じた指導と社会に開かれた教育課程の実践」								
2 本年度の重点事項						＜評価者＞		
○生徒個々の特性に応じた学びの深化に向けたカリキュラム・マネジメント						学校運営協議会委員 15名		
○生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、自己の可能性を多編める人間力の育成						＜評価期間＞		
○生徒一人ひとりに目を向けたキャリア教育ときめ細かな進路指導の充実						令和 7 年 2 月14日（金）～28日（金）		
○健康の保持増進と安全意識の醸成								
領域	評価項目・指標等			教職員 下段は前年	保護者 下段は前年	改善方策	達成状況	改善方策の適切さ
学校運営	学校づくり	社会に信頼される学校づくり	アンビシャススクールにおける教育課程の編成と実施など、スクールミッションに基づく学校運営を進めたか。	3.0	2.8	野高コンソーシアムとの連携による教育活動を次年度から本格化することにとまない、関係者間で活動のねらいや方針について協議を重ね共通理解を図る。	B	A
				2.9	3.0		意見等	
			教育活動に関わる積極的な情報提供により説明責任を果たしていたか。	3.1	2.8		学校運営協議会と連携して探究学習の授業内容を共有するなど進捗が見られる、エビデンスに基づき、アンビシャススクールの成果を明確化し、今後も保護者・地域の方との意見交換の機会を設け、意見収集に努めてほしい。	
				3.1	2.8			
			保護者や地域と連携しながら教育を進めるとともに、迅速、適切な対応ができたか。	3.0	2.8			
				2.9	2.8			
	組織運営	課題の共有と解決に向けた協働体制の確立	情報の共有化と連携に努め、報・連・相の質を高め、組織力の向上に努めていたか。	2.9	2.7	今年度、カリキュラム・マネジメントの視点から関係者評価の実施方法、内容、時期を見直したが、見直しをもって評価ができるように、評価方法や内容、学校課題等についての理解を深める機会を設ける。	B	A
				2.7	2.8		意見等	
			組織的かつ効率的な業務推進に向けて、迅速な評価・改善を行ったか。	2.9	2.8		・達成状況は概ね良好と感じられる、保護者評価の回収率の向上が課題としてあげられ、学校評価のあり方は不断の見直し続けてほしい。 ・整然と整理・整頓された校舎内外の施設・設備は成果の証。	
				2.8	2.8			
			組織改善や業務効率化などに向けた業務改善に取り組んでいたか。	3.0	2.8			
				2.7	2.8			
	教職員の資質・能力の向上	生徒の特性や個性を理解し個に応じた指導を実践できる教職員集団の形成	日常的な施設設備の点検や安全確認が適切に行われていたか。	3.4	2.8	学校運営協議会との連携による研修事業の企画・運営を次年度実施する。	B	A
				3.3	2.9		意見等	
			教職員の資質・能力向上に係る目標を定め、面談や授業参観等の研修を充実させ、教職員としての幅を広げる取組が行われていたか。	3.0	2.6		達成状況は概ね良好である。運営協議会と連携した研修事業をぜひとも実現し、教職員と学校関係者が一体となった学校経営に取り組んでほしい。	
				3.1	2.6			
			教育公務員として使命感や責任感を持ち、信頼される教職員集団づくりに向け、服務規律と法令遵守を徹底する取組が行われたか。	3.3	2.8			
				3.4	2.8			
教育活動	学習指導	教育課程の編成・義務教育段階の学習内容の確実な定着	授業や学習指導の改善に努め、分かる喜びや家庭で学習に取り組む時間を増やすことができたか。	2.8	2.8	ベーシック授業、学習状況等調査、学力テストの結果に基づく改善策が見えないことから、教務部を主導に各教科の抱えている学習課題の把握と共有の機会を設ける。	B	A
				3.0	2.9		意見等	
		教科横断的な探究学習プログラムの編成	社会教育施設を活用した探究活動を通じて、深く学ぶ意欲を喚起し、探索する力や課題を解決する力を育成できたか。	2.8	2.9		評価を見る限り、達成状況は良好とは言い難い。学力の定着状況の検証が必要であり、その結果を保護者、関係者と共有し、教育活動の改善を図ってほしい。	
				2.8	2.9			
		個々の生徒の特性に応じた学ぶ力の育成	生徒自らが学習目標を設定し、持続的に学習に取り組む姿勢を高める指導ができたか。	2.4	2.7			
				2.7	2.8			
	生徒指導	自己の可能性を高める人間力の育成	生徒が自己肯定感を高め、他者を尊重する精神や自ら良好な人間関係を形成しようとする姿勢を育むことができたか。	2.8	2.8	・生徒の主体性を引き出す生徒会活動を継続して充実させる。 ・探究活動の質を向上させ、他者との協働学習の機会の充実を委員会や関係分掌との連携により共通理解を図る。	A	A
				2.6	2.9		意見等	
			生徒の状況を的確に把握・共有し、社会の構成員としてマナーを意識した生活支援をすると共に、いじめの未然防止や問題行動等に迅速かつ適切な対応をすることができたか。	2.8	2.8		達成状況は概ね良好であり、生徒は、非常に落ち着いた状況で授業などを受けている印象がある。いじめが起りにくい環境づくりを目指し、個を尊重し、成長や充実感を実感できる指導の工夫が必要である。	
				3.0	3.0			
		行事や生徒会活動、部活動などにより、生徒の主体性や社会性を育成することができたか。	3.1	2.9				
			2.7	3.0				
他者を尊重し社会性の向上を目指した体験活動の充実		生徒の変化に気づき適宜面談するなど生徒理解に努めたか。	3.1	2.7	心理や福祉の専門家を交えたケース会議の機会を充実させ、多面的・多角的生徒理解に努める。	B	A	
			3.3	2.9		意見等		
		生徒指導に関して、保護者・地域・関係機関との連携が十分に図られている。	2.8	2.7		・前年度に比べ、評価が下がっている項目の分析が必要である。保護者から問合せを受けてからの対応は保護者不信を招くことにつながるので、今後も迅速な対応をお願いしたい。		
			3.0	2.7				
健康・安全指導	健康の保持増進及び美化意識・安全意識の醸成	健康の保持増進に対する意識を高めるとともに、生徒がいつでも安心して相談できる体制を整えていたか。	3.1	2.7	・保護と連携した健康相談を引き続き充実させる。 ・防災学校のあり方を見直し、地域と一体となった実践とする。	B	A	
			3.1	2.8		意見等		
	生命の尊厳と多様性の尊重に基づく、持続可能な社会の形成者の育成	様々な危機への備えを意識できるよう指導できていたか。	3.1	2.7		達成状況は概ね良好と認められる。心身両面での悩みが解消できた実感できる健康相談を実現することで、健康相談に関する認知度が上がるのではないかな。		
			2.9	2.8				
進路指導	社会的・職業的自立を目指したキャリア教育について探究学習を軸として横断的に実践する	キャリアパスポートを活用し、生徒の進路意識を高める進路指導が行えたか。	3.0	2.8	総合的な探究の時間を所管する委員会と進路指導部の連携を密に総合的な探究の時間の年間計画を絶えず見直す。	B	A	
			2.6	2.8		意見等		
		生徒のキャリアプランニング能力を高め、自分の未来を切り拓くための積極的な姿勢を育むことができたか。	2.9	2.7		達成状況は概ね良好と認められる。キャリア教育が積極的に行われているが、総合的な探究の時間の教育効果の把握が今後は必要となる。		
			2.5	2.8				
	生徒一人一人に目を向けたきめ細かな進路指導の充実	資格取得やインターンシップ、オープンキャンパス等への参加など、主体的な姿勢を引き出すことができたか。	3.0	2.8	学校運営協議会、学校、コンソーシアムの役割を明確化し、インターンシップをはじめとするキャリア教育が円滑に進む体制づくりを進める。	A	A	
			2.6	2.8		意見等		
	地元企業、大学、社会教育施設等と連携したインターンシップ等の企画・調整ができたか。	3.2	2.8	大幅に評価が向上している。インターンシップの取組はかなり成功していると感じる。				
		2.9	2.8					
公表方法		本校ホームページ上での公表及び令和 7 年度第 1 回学校運営協議会						